

2023年4月1日(土)

2022年度 活動報告

庶務担当 成定昌昭

1、総会について

2022年度総会はコロナウイルスの市中感染状況を考慮して前年度同様ホームページ上での開催とした。総会の進行としてはまず今期の活動報告を行い、次に新規役員の承認を取り、承認が得られた後に来期の活動方針を報告するという流れであるが、Web開催という性質上、新規役員の承認に関しては、審議事項の一つとして他の議案と同列に掲載した。審議事項の承認方法は、包括同意の形式とした。議案1「2021年度活動報告」、議案2「2021年度会計報告」、議案3「40周年記念基金会計報告」、議案4「会計監査報告」、議案5「2022年度、2023年度新規役員選出」、議案6「2022年度活動方針案」、議案7「2022年度予算案」をホームページ上にて公開した。各議案に対しての質問、意見は無く、反対票は0票であった。提示された7議案について総会を構成する会員の過半数の承認を得て、会則第10条1の規定により本総会は成立した。

2、基礎講座について

帝京大学医学部附属病院 中央検査部の馬杉英男 技師による超音波検査の講演を3回シリーズで開催した。Zoomのウェビナー形式で2022年9月30日(金)に第1回目「血管エコーの基礎講座」、2022年11月4日(金)に第2回目「腹部エコーの基礎講座」、2023年1月28日(土)にステーションコンファレンス東京にて3回目「第1回目、第2回目のまとめ」を開催した。

3、日本医療検査科学会共催シンポジウムについて

2022年10月9日(日)神戸国際会議場にて日本医療検査科学会第54回大会における共催シンポジウムを開催した。13時00分から15時00分に国際会議場3F第2会場にて「理想の臨地実習について考える」をテーマとして講演を行った。講演1として「新たな臨地実習制度に至る背景」坂本秀生 先生(神戸常盤大学保健科学部医療検査学科)、講演2として「理想の臨地実習について考える～学生の立場から現状と希望～」山田夏妃さん(杏林大学保健学部臨床検査技術学科4年)、講演3として「臨地実習における学びと経験から理想の臨地実習について考える」松下里奈さん(神戸常盤大学保健科学部医療検査学科4年)、演題4として「理想の臨地実習について考える～学生を受け入れる施設として～」桑原喜久男 先生(済生会新潟県済生会三条病院)に講演して頂いた。

4、学術研修会について

2023年1月28日(土)12時50分から16時00分、ステーションコンファレンス東京6F605号室にて第39回私立医科大学臨床検査技師会学術研修会を開催した。研修会のテーマは

「生理検査の充実を図る」とした。プログラム1では基礎講座の3回目を本研修会で講演した。(詳細は2、基礎講座参照) プログラム2のシンポジウムではテーマを「術中モニタリングにおける臨床検査技師の役割」として2題の講演を行った。「術中モニタリングのチームワークとソロワーク～整形外科領域～」杉山邦男 技師(東邦大学医療センター大森病院臨床生理機能検査部)、「当院における脳外科領域の術中モニタリングの現状」加藤理恵 技師(杏林大学医学部付属病院臨床検査部)にそれぞれ講演して頂いた。プログラム3の特別講演では「人口知能とAI 超音波の社会実装」西田直生志 先生(近畿大学医学部消化器内科教授)に講演して頂いた。

5、私立医科大学臨床検査技師会 40周年記念祝賀会について

2023年1月28日(土)17時45分から19時15分まで、ステーションコンファレンス東京4F 402号室にて私立医科大学臨床検査技師会40周年記念祝賀会を開催した。会長挨拶の後、関係者、ご来賓の方々より祝辞を頂いた。当技師会の発展に貢献して頂いた方々、協力して頂いた賛助会員様への感謝状の贈呈を行った。30周年記念祝賀会から10年間の活動内容について画像を交えて紹介を行った。

6、会議について

Webでのオンライン会議、現地開催での理事会の会議を10回、カメラデン編集委員会を5回開催した。(詳細はホームページ参照)

7、その他

2023年1月20日(金)に私立医科大学臨床検査技師会誌「KAMERADEN」72号を発行した。